

平成19年度 中間決算の概要

平成19年10月30日



目次

平成19年度 中間期 決算概要	中間決算の概要（対前年同期）	2
	販売電力量の動向	3
	単体－収支増減要因	4
	単体－諸元の推移・変動影響額	5
	連結－収支増減要因	6
	貸借対照表比較	7
	設備投資額・CF・有利子負債の動向	8
平成19年度 年度見通し	平成19年度見通しの概要	9

中間決算の概要(対前年同期)

(単位:百万円、倍)

	連 結			単 体			連単倍率	
	H18中間 (実績)	H19中間 (実績)	増減率	H18中間 (実績)	H19中間 (実績)	増減率	H18中間 (実績)	H19中間 (実績)
売上高	84,834	83,025	△2.1%	79,456	78,188	△1.6%	1.07	1.06
営業利益	12,717	9,662	△24.0%	12,476	9,351	△25.1%	1.02	1.03
経常利益	10,632	7,701	△27.6%	10,646	7,643	△28.2%	1.00	1.01
中間純利益	6,878	4,832	△29.7%	6,806	4,879	△28.3%	1.01	0.99

連結・単体ともに減収減益(連単ともにH15年度以来4年ぶり)

(連結)

- 売上高は、単体の影響のほか、その他の事業において前年同期に発生した大型民間工事の反動減等により減少
- 利益は、単体の影響等から減少

(単体)

- 売上高は、販売電力量の増加はあったものの、燃料費調整制度の影響等により減少
- 利益は、人件費の減少、償却進行に伴う減価償却費の減少等があったものの、燃料価格の上昇等による燃料費の増加、修繕費の増加、他社購入電力料の増加等により減少

販売電力量の動向

販売電力量（対前年同期比較）

（単位：百万kWh）

	H18 中間実績	H19 中間実績	増減	増減率
電 灯	1,555	1,555	+0	+0.0%
電 力 [※]	2,429	2,449	+20	+0.8%
合 計	3,984	4,004	+20	+0.5%

※電力には、特定規模需要を含む。

<電 灯>

お客さま数の増加があったものの、気温が前年に比べ低く推移したことにより、前年同期並みとなった

<電 力>

業務用電力や高圧電力A（契約電力500kW未満の小規模工場等）において、お客さま数の増加があったことにより、前年同期を上回った

（参考）発電設備及び発電実績

（単位：千kW、百万kWh）

	H18中間期		H19中間期				
	電力量	構成比	最大出力	構成比	電力量	構成比	
自 社	石 炭	2,613	56.4%	752	33.6%	2,599	55.7%
	石 油	1,034	22.3%	1,172	52.4%	1,097	23.5%
	計	3,647	78.7%	1,924	86.0%	3,696	79.2%
他社(石炭)	966	20.9%	312	14.0%	943	20.2%	
そ の 他	19	0.4%	-	-	25	0.6%	
合 計	4,632	100.0%	2,236	100.0%	4,664	100.0%	

- 最大出力については、増減なし
- 発電電力量は、前年同期と比べ +0.7%
- 自社分の石炭火力の割合は、前年同期と比べ、0.7ポイント減少
- 他社分を含む石炭火力の割合は、75.9%

単体 - 収支増減要因

(単位:百万円)

		H18 中間実績	H19 中間実績	増減	増減率	主な増減要因
経常収益	電灯料	36,892	36,363	△529	△1.4%	〔電灯電力料計〕 販売電力量 248 燃料費調整制度の影響等 △1,633
	電力料	42,119	41,261	△858	△2.0%	
	小計	79,012	77,625	△1,387	△1.8%	
	その他収益	814	833	+18	+2.3%	電気事業雑収益 106 受取配当金 16 事業外収益 △119
計		79,827	78,458	△1,368	△1.7%	
経常費用	人件費	8,524	8,150	△374	△4.4%	退職給与金 △529
	燃料費	21,642	22,875	+1,232	+5.7%	数量要因 403 単価要因 889(為替 695 CIF差 651 離島燃料転換 △810 その他 353)
	修繕費	6,384	7,105	+721	+11.3%	配電 277(台風復旧による増等) 内燃力 267(機械装置修繕費の増等) 汽力 67 変電 56 送電 53 業務 △2
	減価償却費	11,621	11,465	△156	△1.4%	汽力 △238(金武火力 △494) 業務 △61 送電 65 内燃力 63 《新償却制度による影響額 495》
	他社購入電力料	6,929	7,153	+224	+3.2%	火力 153 太陽光 24 風力 20
	支払利息	1,958	1,907	△51	△2.6%	平均残高差 △40 期中平均利率差[1.71% → 1.70%] △10
	公租公課	3,601	3,622	+21	+0.6%	事業税 121 電源開発促進税 △92
	その他費用	8,516	8,534	+18	+0.2%	廃棄物処理費 200 固定資産除却費 124 事業外費用 △155 消耗品費 △106
計		69,180	70,815	+1,634	+2.4%	
経常利益		10,646	7,643	△3,003	△28.2%	

単体 - 諸元の推移・変動影響額

主要諸元

		H18 中間実績	H19 中間実績
原油CIF価格	\$/bbl	67.8	67.8
石炭CIF価格	\$/t	55.3	60.9
為替レート	円/\$	115.4	119.4

変動影響額

(単位: 億円)

		H18 中間実績	H19 中間実績
原油CIF価格 ※	1\$/bbl	1.9	2.0
石炭CIF価格 ※	1\$/t	1.2	1.2
為替レート ※	1円/\$	1.6	1.7
需要	1%	3.7	3.4
金利	1%	0.5	0.5

※ 為替、CIF(石油・石炭)の変動影響額は自社分のみ

連結 - 収支増減要因

(単位:百万円)

	H18 中間実績	H19 中間実績	増減	増減率
売上高	84,834	83,025	△1,808	△2.1%
営業利益	12,717	9,662	△3,054	△24.0%
経常利益	10,632	7,701	△2,931	△27.6%
中間純利益	6,878	4,832	△2,046	△29.7%

■ 売上高は、約18億円の減少

減少要因:電気事業における減

減少要因:その他の事業における民間工事の反動減

■ 営業利益は、約31億円の減少

減少要因:売上高の減

減少要因:電気事業における燃料費および修繕費の増

増加要因:電気事業における減価償却費の減

■ 経常利益は、約29億円の減少

減少要因:上記営業利益の減

■ 当期純利益は、約20億円の減少

セグメント別実績(相殺消去前)

(単位:百万円)

	電気事業	建設業	その他の 事業
売上高	78,041	7,272	16,757
(対前年同期増減)	(△1,281)	(846)	(825)
うち外部向け	77,957	1,132	3,935
(対前年同期増減)	(△1,285)	(99)	(△623)
営業利益	9,322	△240	443
(対前年同期増減)	(△3,182)	(61)	(39)

□ 建設業は、民間工事の受注増および電力向け売上の増による影響等から、営業利益は0.6億円増加

□ その他の事業は、大型民間工事の反動減等はあったものの、電力向け売上の増による影響等から営業利益は0.4億円増加

貸借対照表比較

(単位:百万円)

		H18 期末	H19 中間期末	増 減	主な増減要因 (単体要因)								
資 産	連結	376,071	378,875	+2,803	【電気事業固定資産の増減】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備計上</th> <th>除 却</th> <th>減価償却</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14,995</td> <td>△606</td> <td>△11,465</td> <td>△10</td> </tr> </tbody> </table>	設備計上	除 却	減価償却	その他	14,995	△606	△11,465	△10
	設備計上	除 却	減価償却	その他									
14,995	△606	△11,465	△10										
単体	354,113	356,051	+1,937										
負 債	連結	273,410	272,961	△448	関係会社短期債務 △2,830 有利子負債 +483								
	単体	254,721	253,174	△1,546									
純資産	連結	102,661	105,913	+3,251	中間純利益 4,879 配当 △477 その他有価証券評価差額金 △868								
	単体	99,392	102,877	+3,484									

(参考) 有利子負債残高および自己資本比率の推移

		H18期末	H19中間期末	増 減
有利子負債残高 (百万円)	連結	232,649	233,377	+728
	単体	221,771	222,255	+483
自己資本比率 (%)	連結	27.1	27.8	+0.7
	単体	28.1	28.9	+0.8

設備投資額・CF・有利子負債の動向

(単位:億円)

		連 結			単 体		
		H18 中間実績	H19 中間実績	増 減	H18 中間実績	H19 中間実績	増 減
設備投資額		80	81	+1	71	66	△5
C F	営業活動	119	112	△7	116	100	△15
	投資活動	△98	△106	△7	△91	△98	△7
	(FCF)	(20)	(5)	(△15)	(24)	(1)	(△22)
	財務活動	△37	1	+39	△40	△0	+39
有利子負債残高		2,360	2,333	△26	2,250	2,222	△28

- 税金等調整前(税引前)中間純利益の減少、減価償却費の減少等により、営業活動によるキャッシュ・フローは減少
- 単体では、前年同期の大平幹線3号増設による設備投資の反動減があるものの、投融資の支出増及び連結子会社で設備投資が増加したことから、投資活動によるキャッシュ・フローは支出増
- 以上の結果、フリー・キャッシュ・フローは、前年同期と比較して減少

平成19年度見通しの概要

(単位:百万円)

	連 結				単 体			
	H18 (実績)	見通し		見通し増減 (対7月公表)	H18 (実績)	見通し		見通し増減 (対7月公表)
		H19 (7月公表)	H19 (今回)			H19 (7月公表)	H19 (今回)	
売上高	159,395	162,800	162,000	△800	147,201	148,600	149,000	+400
営業利益	15,482	16,600	14,400	△2,200	13,690	15,500	13,500	△2,000
経常利益	11,739	12,800	10,600	△2,200	10,096	12,000	10,000	△2,000
当期純利益	6,418	8,000	6,500	△1,500	6,398	7,700	6,300	△1,400

(連結) 増収減益の見通し

■ 売上高は、7月公表値より8億円下方修正

(要因)単体の影響はあるものの、建設業において公共工事及び民間工事の受注減が見込まれることから、売上高を下方修正

■ 経常利益は、7月公表値より22億円下方修正

(要因)単体の影響等により、各利益を下方修正

(単体) 増収減益の見通し

■ 売上高は、7月公表値より4億円上方修正

(要因)燃料価格上昇に伴い、燃料費調整額が増加する見込みであることから売上高を上方修正

■ 経常利益は、7月公表値より20億円下方修正

(要因)売上高の増加が見込まれるものの、燃料価格上昇に伴う燃料費の増加及び、修繕費の増加が見込まれることから、各利益を下方修正

■ 販売電力量

(単位:百万kWh)

	H18 (実績)	H19 (7月公表)	H19 (今回)
電 灯	2,881	2,959	2,950
電 力*	4,495	4,486	4,490
合 計	7,376	7,445	7,440

※電力には、特定規模需要を含む

■ 主要諸元

		H18 (実績)	H19 (7月公表)	H19 (今回)
原油CIF価格	\$/bbl	63.5	65.0	70.0
石炭CIF価格	\$/t	57.2	62.0	64.8
為替レート	円/\$	117.0	120.0	118.0

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化などに伴い、変化することにご留意ください。